慶應義塾医学部新聞

発行所
三四会医学部新聞編集室
〒160-8582
東京都新宿区信濃町35
電話（3353）1211 内線4596
会員については会費に購読料が含まれる
毎月1回20日発行

平成十六年度 入学式盛大に挙行

新入学者六、四七八名（医学部102名）

塾長から新入生におくる三つの提言

「夢と勇気を持ち責任ある行動を」

四月四日、平成十七年度慶應義塾大学入学式が挙行された。午前十時の開式に伴い、学事報告、塾長式辞、学部紹介、教職員表彰（植村裕之 佐久海上火災代表取締役の2名）、新入生代表（村井謙 経済学部1年）による入学の誓、最後に塾歌斉唱を行い、式は滞りなく終了した。

日吉記念館前広場に集まる参会者達と挨拶する安西塾長

塾長講演に耳を傾ける新入生

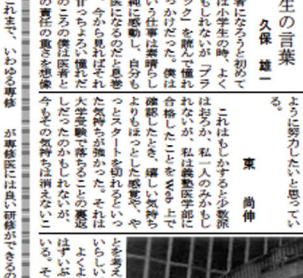
今年度の入学式は、冷雨に煙る日吉の丘で行われが、午前九時半過ぎ頃に詰め掛けた新入生とその保護者および関係者達の熱気で、うち医学部は一〇二名を含む、六、四七八名の全入学者は六、四七八名で、さらに、良き人間関係は、式典は最初に、黒田眞裕常任理事の学事報告があった。本報告において、新しい時代を創るために、まず夢を持ち、そしてその夢を実現する為に、自発的な勇気を持つ学校である、新たな船出日吉の広場を埋めていた。

安西塾長はその式辞の中で、心に留めておいて欲しいこととして、「夢を持つ」、「勇気をもつ」、「責任を持つ」の三点を挙げ、要約すると「日吉記念館前広場に集まる参会者達と挨拶する安西塾長は、信頼の基に成り立つから、自らの言動に責任を持て、ここで育てることは、素晴らしい巡り合わせである」と、義塾の建学の精神である「独立自尊」に導かれた学生生活の意義を説明、福沢諭吉の「学問のすすめ」の冒頭の一節を引用し、「自分の人生は、自分で責任を持つべき存在である」と、義塾の教育方針を説明した。

続いて述べられた祝辞は、太田眞人子義塾評議員会副議長（「歌」）、安西祐一郎塾長（「独立」）、清家篤塾長（「自尊」）、鎌村好孝評議員会副議長（「協力」）、村井謙新入生代表（「責任」）の二名が時代の先駆者として大切であると、これらの基本的な視点に立ち返って自己を見つめ直したいと述べ、義塾の「夢」を持つようにと述べた。

入学式終了後、恒例の卒業五十周年記念の集い引き続き開催された。

新入生の言葉


塾歌斉唱

久保 雄一

僕が医者になろうと初めて思ったのは小学生の時、よくある話のもれなく憧れの医師でした。「医者という仕事は素晴らしい仕事だ」と感じ、自分もいつかは医師になりたいと思うようになりました。僕は慶應義塾大学医学部に合格したことを受け止めて、